

社会資本総合整備計画  
都市再生整備計画 事後評価シート  
小林駅周辺地区

平成31年1月

宮崎県小林市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮崎県		市町村名	小林市		地区名	小林駅周辺地区			面積	32.8ha		
交付期間	平成26年度～30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	573.0(百万円)	国費率	0.42				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		事業名 駅北公園、駅北広場、駅南自転車駐車場、電線類地中化(駅北広場内)、地域交流センター、観光交流センター								
			提案事業		事業効果分析								
	当初計画から削除した事業		基幹事業		なし		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業		なし								
	新たに追加した事業		基幹事業		ふれあい広場、駅北広場自転車駐車場		駅北広場とふれあい広場の一体利用が可能となるようにして、イベント等の活用の幅を広げるために事業を追加。		指標3「イベントの参加人数」の目標値を上方修正。指標1「地域活性化拠点の利用満足度」の目標値を上方修正。				
		提案事業		駅北公園(まちなかイベント広場兼駐車場)		市民やまちづくり組織が高いことを踏まえた上で、イベントでの活用可能な広場まちなかの回遊性を強化するための駐車場として事業を追加。		指標3「イベントの参加人数」の目標値を上方修正。					
交付期間の変更		当初変更		平成26年度～平成28年度 平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		計画期間の延長(目標年度の変更)により、指標3「イベントの参加人数」の目標値を上方修正。					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	地域活性化拠点の利用満足度	点	1.8	H25	4.1	H30	-	3.9	△	あり なし	賑わい空間の創出・強化や観光情報発信機能の強化、駅周辺の歩行者ネットワークの形成・強化が図られてきており、利用満足度の向上が確認できたが、わずかに目標に達しなかった。	平成31年6月頃
	指標2	商店街の空き店舗数	店舗	46	H24	46	H30	-	17	○	あり なし	南北通路開通により利便性・回遊性の向上、本事業によりJR小林駅周辺の拠点性が高まっている。これらの効果が波及し、空き店舗の減少につながっていると考えられる。	平成31年12月頃
指標3	イベントの参加人数	人/年	61,000	H24	111,000	H30	-	112,800	○	あり なし	まちづくり組織が活動する上でも課題であった点などを踏まえた事業と整備した施設の積極的な活用等によって、目標値を上回るイベントの参加人数が得られたと考えられる。	平成31年6月頃	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	その他の数値指標1	都市機能・生活機能に関する満足度の向上	点	0	H25	/	/	-	0.9	/	本事業によって賑わい機能と生活環境が向上し市民満足度を高めるとともに、中心市街地に足を運ぶ機会を増やす結果につながったと考えられる。	平成31年6月頃	
その他の数値指標2	商店街の営業店舗数	店舗	96	H24	/	/	-	102	/	地域・観光交流センター整備等により市民が中心市街地に足を運ぶ機会が増えている。このような事業効果が商店街にもプラスに働く等の効果があったと考えられる。	平成31年12月頃		
4)定性的な効果発現状況	*本事業の実施(施設整備)によって、市民が駅周辺でさまざまな交流活動(例:イベントや会議など)を実施するようになった。これらによって、中心市街地に足を運ぶ市民が増える状況(市民アンケートにて確認)につながった。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-		
	住民参加プロセス		市民アンケート等に基づく小林商工会議所まちづくり委員会からの提言を踏まえた計画の変更(事業の追加)				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● まちづくり組織等との協働により、整備した空間の積極的な活用を図る。		
	持続的なまちづくり体制の構築		まちづくり組織と行政が協働で中心市街地の活性化に資するまちづくり体制の構築を図った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● まちづくり組織等との協働により、地域交流センターおよび観光交流センターの積極的な活用を図る。		

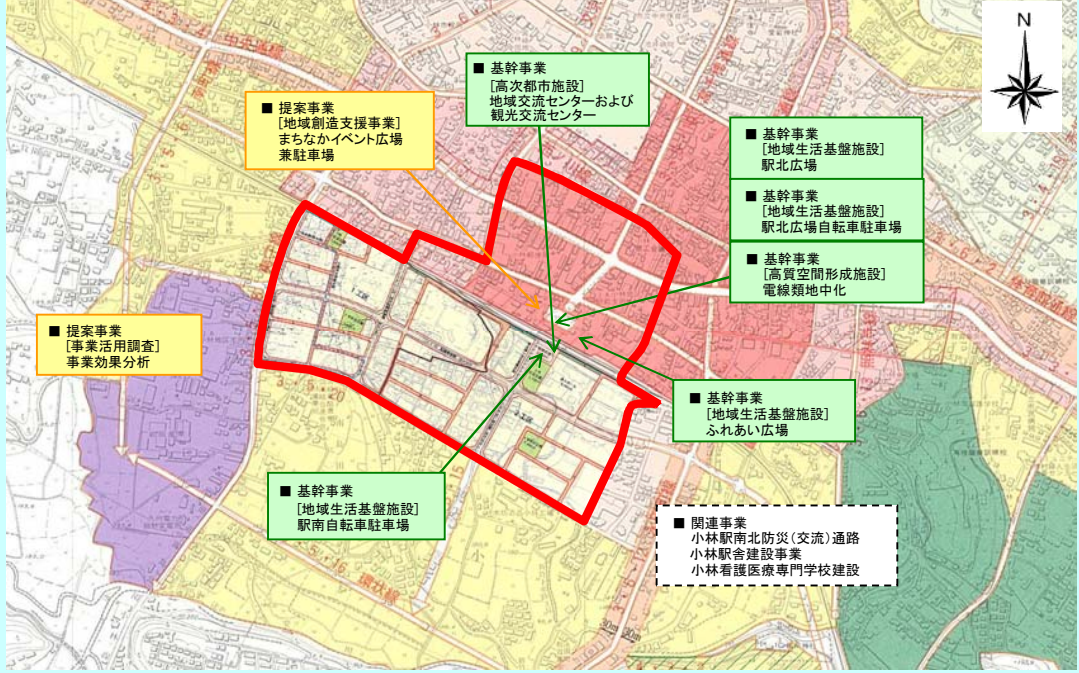
## 様式2-2 地区の概要

小林駅周辺地区(宮崎県小林市) 都市再生整備計画事業の成果概要					
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
[大目標]水のまち「こばやし」の雰囲気を活かし、生活環境の向上とふれあい・交流拠点創出による、魅力的で安心・安全な「湧くわくするまちづくり」	地域活性化拠点の利用満足度	単位:点	1.8 H25	4.1 H30	3.9 H30
[目標1]JR吉都線・小林駅により南北に分断されている本市の中心市街地において、南北の交通アクセス機能および防災機能を高めることで、安心・安全で快適な生活環境を創出する。	商店街の空き店舗数	単位:店舗	46 H24	46 H30	17 H30
[目標2]水のまち「こばやし」の中心にふさわしい様々な人が集うふれあい・交流拠点の創出と、「こばやし」の魅力や特産品等を市外・県外にPRする情報発信機能等を強化する。	イベントの参加人数	単位:人/年	61,000 H24	111,000 H30	112,800 H30
[目標3]地域のまちづくり活動の活性化を図り、駅南(駅周辺を含め新たな機能を有してきている地域)と駅北(商店街が建ち並ぶ商業地域)が交流し、にぎわいのある「湧くわくするまちづくり」を官民協働で促進する。	都市機能・生活機能に関する満足度の向上	単位:点	0 H25		0.9 H30
	商店街の営業店舗数	単位:店舗	96 H24		102 H30

施設の活用状況  
[KITTO小林でのイベント]




[JR小林駅南側でのイベント]

地域交流センターおよび観光交流センター(KITTO小林)




・小林駅南北防災(交流)通路



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利便性向上や駅周辺の歩行者ネットワークの形成・強化に資する駅周辺の整備(本事業の実施)によって、市民アンケートで「交通や生活の利便性が向上している」とことや「以前の駅に比べて休憩スペースやトイレの快適性が良くなった」こと、「小林駅を挟んで南北方向のアクセスについての満足度」が向上していることを確認した。</li> <li>・地域・観光交流センターとその周辺整備によって、新たなふれあい・交流拠点および情報発信拠点の創出を図った。整備後は積極的な利用が図られており、市民アンケートにおいて「賑わい拠点の場としての満足度」・「情報発信機能の満足度」の向上と、同施設整備により「中心市街地に足を運ぶ機会が増えた」こと、「市の中心施設として市外の人に紹介できるようになった」効果があったことを確認した。</li> <li>・広さなどに課題があった中心市街地のイベントスペースについて、本事業により改善を図り(まちづくり組織からも要望あり)、イベント内容の充実や新たなイベントの開催が取り組まれ、イベントの参加人数が増加している状況を確認した。</li> <li>また、空き店舗の減少・営業店舗が増加している状況と、商店街店舗での新たな取り組み(ex.ワークショップ)の実施やリノベーション店舗が立地している状況を確認した。</li> <li>・本事業によって、まちなかの生活環境に対する満足度が向上しているものの、中心市街地の居住人口は減少傾向にある。引き続き、「暮らしの場」や「働く舞台」としての中心市街地の機能を向上させることが重要といえる。</li> <li>・ふれあい・交流拠点の創出や情報発信機能等の強化が図られている中、「賑わい拠点」と「情報発信機能」に関する市民評価については満足度が向上しているものの、わずかに目標には達しない結果となった。市民からもアンケートで提案があった「地域資源の活用」等の視点により、更なる賑わい創出や情報発信を図る必要がある。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業で整備した施設が持続的に活用されるための取り組みを推進する。</li> <li>・ふれあい・交流施設の利活用の推進と魅力的な情報発信機能の強化を図る。</li> <li>・まちづくり組織や事業者・市民が主体となった、まちづくり活動を推進する。</li> <li>・中心市街地の居住人口や昼間人口を増やす取り組みを展開する。</li> <li>・本事業で整備した拠点を活かし、中心市街地の店舗や市内へ効果を波及する。</li> </ul>